

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	新金岡りんご園		
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日		～ 令和7年10月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日		～ 令和7年10月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自己肯定感を高めるために、従業員が一丸となって、ほめて伸ばすこと、愛情をたくさんそぐこと。リトミック・音楽療法や外部講師を招聘して、様々な感覚刺激をおこなうこと(絵画、料理、英会話、フラダンスなど、個性豊かな講師による利用者を楽しませるカリキュラム)。	利用者との信頼関係の醸成を意識的に行っている。 みんなでほめる、笑顔で接する、一緒に楽しむようにしている。	保護者同士のネットワーク構築、孤独感の軽減、親子の愛情形成の促進、兄弟支援のため、土曜日に親子参加型のカリキュラムを導入しました。 支援計画をさらに具体的に分析し言語化して職員でなにするべきかを共有するために、AIによる具体策の企画立案レポートの作成システムを構築中(AIはジェミニを使用)。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	新金岡りんご園				公表日	令和7年10月30日		
					利用児童数	32	回収数	29
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	1		1	広いと感じる	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	25	1		3	多いと思えるくらいじっくり見てくださっている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29				あたらしくできたこともあり、きれいでかわいらしい空間になっていて子供が気に入っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29				あたらしくできたこともあり、きれいでかわいらしい空間になっていて子供が気に入っている。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27			2	子供とたくさん会話していただき、特性等を把握して対応してくれている。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28			1	合っている	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29				合っている	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28			1	思う	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28			1	思う	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	1		1	毎回内容が変わるので子供がたのしく通っている。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	8	4	9	わからない	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	1				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	8	7	6		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	28		1		送迎時、ノートのやり取りから共通理解ができています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	1	1	3	まだ、入園して間もないので面談はしていません。定期的にあるのと、相談をしてもすぐ対応して下さる。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29					
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	8	6	7			
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	1		4			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28			1	すぐにLINEで連絡が取れ、SNSや写真を送って下さるので、なにをしていたかわかりやすく、お顔は隠すという個人情報の反故ももちろんくださっている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	27			2	すぐにLINEで連絡が取れ、SNSや写真を送って下さるので、なにをしていたかわかりやすく、お顔は隠すという個人情報の反故ももちろんくださっている。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	1		2	すぐにLINEで連絡が取れ、SNSや写真を送って下さるので、なにをしていたかわかりやすく、お顔は隠すという個人情報の反故ももちろんくださっている。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	1		3	わからない	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	1		5	わからない	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	1		2	①送迎のチャイルドシートはされているのか。 ②安全配慮はしてくださっている。	安全配慮措置をしていることについて、積極的に保護者の方に報告します。不安を表明して下さったことを奇貨として、安全配慮義務及びその措置、事業所に求められる法的責任、具体的な施策措置について専門家を招聘して内部研修をします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27			2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29				今日は〇〇先生がいた、いなかったからさみしいと皆さんの名前が出てきて、お友達としたことをうれしそうに話してくれて、この3年で見違えるように成長したので大満足です。ありがとうございます。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29				今日は〇〇先生がいた、いなかったからさみしいと皆さんの名前が出てきて、お友達としたことをうれしそうに話してくれて、この3年で見違えるように成長したので大満足です。ありがとうございます。幼稚園、自宅から通うときいつものしみにしている。ほか。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	1			今日は〇〇先生がいた、いなかったからさみしいと皆さんの名前が出てきて、お友達としたことをうれしそうに話してくれて、この3年で見違えるように成長したので大満足です。ありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 新金岡りんご園

公表日 令和7年10月30日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	カリキュラムに応じて、事業所の空間を演出している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	全職員が利用者へのサービス改善への視点を持つように意見交換している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	改善点を発見するための重要資料と位置づけている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	普段から意見交換している。 法人理事長が現場にて療育に従事している。 職員意見や現場の問題点を最重視している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	具体的な療育のカリキュラムを実行するために内外の研修を受講している。 療育の内容の理解がなくては効果がでないので、普段業務中にもノウハウを伝授している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	事業所実施のプログラムやいろんな外部講師の支援プログラムがあり、利用者等に伝えている。	支援プログラムの作成は重要で力を入れている。外部への公表は、堺市を通じて公表しているが、独自にももっと公表することが必要と感じている。HP強化。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	これまでの支援計画に加えて、より具体的に事業所サービスに即した詳細なレポートをAIを使って資料作成し、療育の効果をより高めることに取り組んでいる。 現在基礎資料収集、プロトコル作成中。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	はい。子供の利益を最大化するために、多くの意見が基礎にある必要があります。 普段から意見収集しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	はい	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	一般化されたヒアリングシートや日誌からも情報収集しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	利用者のフェーズに応じて、適切に設定されるようにいつも注意しています。	

の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	はい	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	つねに新鮮な新しい経験をしてほしいと 思っています。内部外部職員共に飽き られないようがんばっています。	課題としては、反復の必要性和、プログラ ムを固定化しないことは一部相反する ところがある。さらなる工夫が必要。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	個別、集団ともに組み合わせていますし、 集団活動のなかに個別活動としての要素も 取り入れて支援するようにもしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	はい	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	はい	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	はい	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	はい	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	はい	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	連携して支援を行う体制を整えるだけで なく、実際に関係機関と頻りにコミュニ ケーション、研修もおこない実行している。	相手方があることなので、関係機関との 連携にはどうしても限界がある。 そういう壁を突破していかないといけない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	インクルージョンの理念は重要です。 しかし理念を現実化するには、事業所と して、経済不合理な判断をしなければなら ないことがあります。当法人は、私欲は排 除して行動しています。	関係機関と相互理解には常に務めています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	はい	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	0	はい。近隣のセンターから派遣される バイザーからの面談・助言を受けています	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	5		施設内での療育がメインで、外部のこども との交流はない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	はい	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5		情報提供には努めているが、研修機会は 現在はない。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	はい	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	はい	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	はい	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		保護者等との信頼関係の構築などの基礎を固めることに今後も努力をしなければならない。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	5		できていない。 療育効果はご家庭での対応があればこそ、発揮されるもの。家庭の支援に今後、注力していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	はい	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	はい。日々の活動内容を保護者に画像、動画で伝えています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	はい。個人情報の管理には注意しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	はい	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5		今後、地域住民を行事に招待すること等は検討します。リスクの観点も考慮し、どうすれば地域に開かれた事業運営をしていけるか考えます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	3	紙資料配布にて周知している。普段の行動にマニュアルからの学びを反映させようと改善の意識を醸成するようにしている。	家族等に対しては、周知が弱いと感じている今後、改善すべき事項。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	3	非常災害の発生に備え、定期的に訓練している。 避難場所の確認は、常に周知確認している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	はい	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	はい	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2	要請的視点から、意識づけ、注意喚起をしている。	継続性の確保と油断の排除。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2		紙資料の配布をする。普段の送迎時のコミュニケーション等にて適宜に問題意識を育む。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハット集を作成している。 ヒヤリハットからの注意喚起をして、意識を高めてるようにしている。	再発防止への方策について検討はしているが再発防止のために具体的な作業標準設定にまで落とし込むことまで踏み込む必要がある。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止マニュアルを利用し、虐待の本質を理解するように促している。また、現代の権利意識に合致する行動規範とはなにかを常に模索している。	個々人の行動規範にかかる意識のズレの修正。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	身体拘束は原則しない。しかし、利用者の状況次第では止むを得ずすることがあるので、予め伝えている。 資格者や研修修了者を中心に組織的に決定している。		